

## コース名：生成AIの活用

いま知っておきたい！AI活用の第一歩！

## 生成AI × SNS活用セミナー

令和8年12月17日(木) 9:30～16:30 昼休憩12:00～13:00

- 会場 ポリテクセンター山形 (山形市漆山1954) **6時間コース**
- 対象者 SNS運用の強化や社内の業務効率化を担う方 ※事業主からの指示を受けた在職者の方に限ります。  
(事業主ご自身の受講は可能です)
- 申込締切 11月26日(木)
- 定員 15名 (最少催行人数6名)
- 受講料 3,300円 (税・教材費込)
- 講師



堀田 タケル (ほりた たける) 氏

グローバルマーケティング株式会社 第一コンサルティング部 マネージャー

上級SNSエキスパート認定。WEBマーケティング領域を中心としたコンサルティング、セミナー・研修の講師を担当。その他にも、採用マーケティング支援や販促ツール制作のディレクションも行っている。これまで200社以上の幅広い経営支援実績を持つ。

コースのねらい：生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。

レベル：★★★★☆

| 基本項目              | 主な内容                                                                                                        | 訓練時間 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1.生成AIの概要         | (1)SNSマーケティングの基本と運用目的の明確化<br>「誰に・何を・どのように届けるか」という売れる仕組みづくりの基本と、各SNSの特徴を踏まえて自社のアカウント運用目的を整理します               | 3.0H |
|                   | (2)生成AIの概要と最新トレンド<br>生成AIの基本的な仕組みや特徴、主要ツールの違いを解説し、中小企業・小規模事業者における最新の活用事例と導入時の注意点を伝えます。                      |      |
|                   | (3) 生成AIを活用したSNS投稿文章の作成 (プロンプト術)<br>生成AIから望ましい回答を引き出すプロンプト (指示文) の書き方を解説し、投稿ネタのアイデア出しやターゲットに響く文章作成の実習を行います。 |      |
| 2.生成AIの活用事例と今後の展望 | (1) 生成AIとデジタルツールを活用したクリエイティブ制作<br>生成AIを活用した画像制作のポイントや、Canvaなどの無料デザインツールと組み合わせる視覚的に惹きつける投稿素材を作る手法を解説します。     | 3.0H |
|                   | (2) 自社独自のSNS運用計画と社内体制の構築<br>継続的な投稿を実現するためのSNS運用スケジュールの作成、担当者の役割分担、および社内での情報共有や運用ルールの策定を行います。                |      |
|                   | (3) 数字分析 (PDCA) とリスク管理・炎上対策<br>インサイト機能を活用した投稿データの分析と効果測定の手法、自社に合った目標設定 (KPI) 、および著作権や炎上防止等のリスク管理をお伝えます。     |      |

※筆記用具をご持参下さい

レベル☆☆☆☆は、おおよその目安です。★…基本から学ぶ、★★…知識がある、★★★…業務で取り組んでいる(参考)

裏面の受講申込書に必要事項をご記入の上、当センター宛にFAXでお送りください。

主催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部 山形職業能力開発促進センター  
ポリテクセンター山形 生産性向上人材育成支援センター〒990-2161 山形市漆山1954  
TEL: 023-686-2008 FAX: 023-686-2808  
E-mail: yamagata-seisan@jeed.go.jp https://www3.jeed.go.jp/yamagata/poly/

ポリテクセンター山形



後援: (一社)山形県経営者協会、山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会、山形県中小企業団体中央会

